基本目標⑤　ワーク・ライフ・バランスを踏まえた支援を実施します

方向性⑴　ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりの推進

現状と課題

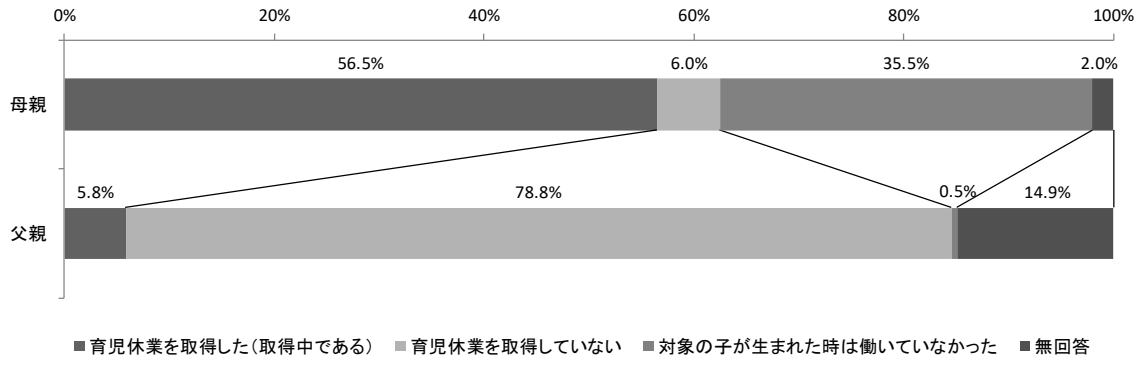
調査結果によると、育児休業の取得状況は、母親が 56.5%であるのに対して父親は5.8%であり、父親の育休取得率は増加傾向にあるものの、とても低い割合です。また、父親の子育てへの参加についても、子どもが乳幼児であるときと比較して、小学生になると割合が少なくなっています。

子どもの健やかな成長を支えていくためには、家庭において親子がともに過ごす時間が大切であり、女性も男性もともに、仕事と生活の調和を図っていくことが重要です。

女性の就業が進む中で、依然として育児・介護の負担が女性に偏っている現状や男性の育児休業取得が進まない実態を鑑み、男性の育児参加を一層促していくには、働く人それぞれの事情に応じた柔軟な働き方を選択できる働き方改革の推進が重要です。

女性も男性も仕事と生活の調和を実現し、それぞれのライフステージでいきいきと活躍していくことが、子どもの豊かな育ちを育むことへとつながります。

＜乳幼児の保護者の育児休業の取得状況＞



資料：「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査　調査結果報告書」（平成 31 年 3 月）

今後の方向性

- 雇用環境や労働条件の整備、各種制度を利用しやすい職場の風土づくりなど、ワーク・ライフ・バランスに取組む企業（事業所）の事例を紹介するなど、考え方や重要性などを浸透させるための啓発活動を推進します。
- 企業と関わりが深い労働関係団体等との連携や、東京都の助成制度等のインセンティブを紹介することで、企業のワーク・ライフ・バランスへの取組を促進します。
- あらゆる機会を通じて、男女が共同して子育てへ参加することの促進に向けた意識啓発を行います。

Ⅰ　ワーク・ライフ・バランスの推進　◎

仕事と生活の調和についての取組を推進することで、誰もがともに支えあいながら、社会全体で子どもの健やかな成長を支えていく環境を整えます。

１５３　ワーク・ライフ・バランス推進事業　（人権同和・男女共同参画課）

事業概要	目的	誰もがともに支えあいながら、あらゆる分野で平等に参画する機会が確保され、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、仕事と生活の両立について支援する体制を構築する。
	具体的内容	ワーク・ライフ・バランス推進のノウハウが少ない区内事業者のため、その意義や方法、関係法令の情報を提供するなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発活動などを推進していきます。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	↔

Ⅱ　父親に育児参加を促す取組

男性に家事・育児への参加を促すことで、一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを意識するように取組みます。

１５４　男性対象講座「すみだパパスクール」　（人権同和・男女共同参画課）

事業概要	目的	男性が、子育てや家庭生活、地域活動に積極的に関わることができるよう意識啓発を行う。
	具体的内容	父親であることを楽しみながら積極的に育児に取組めるよう、様々なテーマでの講座を開催し、父親同士の交流や父と子のスキンシップ等に取組みます。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
		↔			

Ⅲ　男女共同参画についての意識啓発

女性、男性がともに子育てに取組み、子どもの成長に関わっていくことを促進するため、固定的な性別役割分担意識を解消し、日常生活の中に潜む偏見や差別意識を取り除いていけるように努めます。

１５５　男女共同参画に関する各種啓発の取組　（人権同和・男女共同参画課）

事業概要	目的	子育てを含めたさまざまな性別役割分担意識を解消し、一人ひとりが自分らしく生きられる社会の実現をめざす。
	具体的内容	男女共同参画情報誌「すずかけ」の発行や、すずかけ大学をはじめとする各種啓発講座の開催、家庭・学校・地域において意識啓発に取組むことで社会全体の男女共同参画に関する意識を高めます。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	←→				

方向性⑵　子育てを楽しめるまちづくりの推進

現状と課題

調査結果によると、小学生の保護者では子育てを楽しいと感じることの方が多いと答えた割合が、楽しいと感じることと心配することが同じくらいと答えた割合より約 2 割低くなっています。子どもが豊かな感性を持ち、伸び伸びと成長していくためには、子育てを親が楽しめる環境を整えていくことが重要です。また、子育てを楽しめる環境があることは、子どもを産み育てたいという希望を後押しすることもできます。

子どもとその家族が安心して生活するための基盤として、子育て家庭に配慮した公園・住宅・交通機関等の整備をより一層進め、こうした施設等の情報を積極的に発信することにより、子育てを楽しめるまちづくりを推進していく必要があります。

今後の方向性

- 妊娠している人やベビーカーを押している人、子ども連れの人等が安心して外出できるよう、交通環境のバリアフリー化を推進します。
- 乳幼児を連れて外出を楽しめるよう、授乳やおむつ替えスペース、利用しやすいトイレ環境の整備を促進します。
- 親世帯と子育て世帯が相互に支えあい、子育てを楽しむことができるよう、三世代の同居・近居を支援します。
- 子どもや保護者の参画の下、子どもたちがのびのびと遊ぶことのできる、魅力ある遊び場、公園の整備を促進します。

Ⅰ　子どもを連れて出かけやすいまちづくり

子どもと一緒に出かけることを負担に感じないまちづくりを進め、子育てを楽しめる環境を整備します。

１５６　赤ちゃん休けいスポット　（子育て支援課）

事業概要	目的	赤ちゃんのおむつ替えや授乳のために気軽に利用できる場所を認定・周知し、乳幼児を連れた保護者が安心して外出できる環境を整える。
	具体的内容	区で設定した基準を満たした施設・民間店舗等を「赤ちゃん休けいスポット」として認定し、ステッカーの掲示、区公式ホームページでの案内等により周知を図ります。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	←	→			

１５７　公園等新設・再整備事業　（道路公園課）

事業概要	目的	特色ある魅力的な公園を整備し、子どもから高齢者までの幅広い世代の公園利用者のニーズに応える。
	具体的内容	身近な憩いや遊びの場である公園を、利用者のニーズにあった機能にしていくため、計画的な再整備を推進します。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	←				→

１５８　道路バリアフリー整備事業　（道路公園課）

事業概要	目的	道路のバリアフリー化を行うことで、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。
	具体的内容	「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」に基づき、道路のバリアフリー化を推進します。また、歩道の整備に合わせて老木化・大木化した街路樹の花の咲く木への植替えも行い、通行者や沿道住民に潤いと安らぎを与えるような道路空間整備を図ります。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	←				→

１５９　歩行者・自転車通行空間再整備事業　（道路公園課）

事業概要	目的	歩行者と自転車が相互に安全で快適な道路利用環境を構築する。
	具体的内容	自転車通行空間の整備を行うことで、歩行者と自転車の通行空間を分離して、相互に安全で快適な道路利用環境の構築を図ります。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	↔

１６０　放置自転車対策　（土木管理課）

事業概要	目的	放置自転車による生活環境の悪化を防止し、安全で快適なまちづくりの実現を図る。
	具体的内容	自転車整理員による日常的な周知活動や呼びかけのほか、啓発キャンペーンを推進します。 また、自転車放置禁止区域では自転車の即時撤去を実施するなど、撤去・保管・返還業務も行っています。保管期限経過後も引取りのない撤去自転車については、自転車の状態に応じてリサイクル、海外供与、売却、廃棄などの処分を実施しています。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	↔

１６１　トイレ改築事業　（道路公園課）

事業概要	目的	トイレのバリアフリー化を進め、区民の誰もが安心して利用できるようにする。
	具体的内容	老朽化した公衆トイレや公園等トイレの改築を計画的に進め、改築に合わせてバリアフリー化を行い、ベビーシートやベビーチェアも備えた「だれでもトイレ」を整備します。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	↔

Ⅱ　子育てしやすい住宅環境の促進

子育て家庭が、子育てに適した住宅を確保できるように支援し、住み続けながら子育てできる環境を整えます。

１６２　子育て世帯等定住促進事業　（住宅課）

事業概要	目的	子育て家庭が区内に定住してもらえるよう、住宅を確保しやすい環境を整える。
	具体的内容	【三世代同居・近居住宅支援制度】 区内在住の親世帯と新たに同居又は近居するため、中学生以下の子どもを養育する子育て世帯が住宅を取得する場合、住宅購入費の一部を助成します。 【民間賃貸住宅転居・転入支援制度】 未就学児を養育する子育て世帯が、区内で転居する場合や、区内に居住する親世帯と同居又は近居するために区外から転入する場合、民間賃貸住宅に転居・転入する場合に限り、必要な転居費用の一部を助成します。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	↔

１６３　すみだ良質な集合住宅認定制度　（住宅課）

事業概要	目的	良質な集合住宅の供給促進を図るとともに、住み替えにおける良質な住環境の指針を提供することで、区内の住環境の充実を図る。
	具体的内容	区内に供給される集合住宅のうち、住生活に関する様々な機能（子育て・防災）について、建築及び管理運営において特に配慮したものを認定し、積極的な周知を行います。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	

方向性⑶　子育て家庭の視点に立った情報の発信

現状と課題

子育て家庭の孤立を防ぎ、不安を解消するため、ホームページ、アプリ、ガイドブック等さまざまな方法で子育て支援情報の発信を行っています。

ですが、調査結果によると区が行っている各種子育て事業等に関する認知度は前回より低下しており、情報発信に当たっての更なる工夫が必要になっています。

「子育て支援に関する情報が分かりにくい」「必要な情報が、必要な時に、必要な人へ届いていないと感じる」といった意見が寄せられており、受け取り手の視点に立って、情報発信方法を常に改善し続けていくことが求められています。

＜子育て支援事業の認知度の推移＞

	平成28年度	平成30年度	増減
妊婦歯科健康診査	91.2%	85.6%	−5.6%
出産準備クラス・育児学級	75.3%	79.4%	4.1%
パパのための出産準備クラス	60.6%	71.3%	10.7%
ゆりかご・すみだ事業	55.3%	35.9%	−19.4%
こんにちは赤ちゃん事業	25.2%	23.0%	−2.2%
育児相談、子育て相談、子育て講座	86.4%	56.3%	−30.1%
赤ちゃん休けいスポット	83.1%	66.4%	−16.7%
保育コンシェルジュ	59.4%	40.6%	−18.8%
一時保育	83.8%	82.2%	−1.6%
すみだ子育て支援ネット「はぐ（Hug）」	55.5%	61.7%	6.2%
すみだいきいき子育てガイドブック	82.4%	73.0%	−9.4%
すみだ子育てアプリ	27.6%	43.1%	15.5%
すみだ安全・安心メール	73.2%	47.7%	−25.5%
児童館・コミュニティ会館	94.4%	93.1%	−1.3%
子育て支援総合センター	79.3%	56.5%	−22.8%

資料：「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査　調査結果報告書」（平成 31 年 3 月）

今後の方向性

- 情報を必要とするすべての人が、子育てに関する情報を気軽に入手できるよう、引き続き多様な方法で情報発信に努めるとともに、必要な時に求める情報にアクセスできるよう、区民の意見を聞きながら随時発信方法の見直しを行っていきます。
- 発信する情報の内容を充実させ、多忙な子育て家庭にも分かりやすい情報の発信に取組みます。

Ⅰ　ＩＣＴを活用した情報の発信

誰もが気軽に子育て支援情報を手に入れられるように、個人に広く普及したスマートフォンやＰＣを使って、必要な子育て支援情報を取得できるようにします。

１６４　子育て応援サイトの運営　（広報広聴担当、子育て支援課）

事業概要	目的	区公式ホームページを通じて区の子育て支援施策を発信し、情報の周知・浸透を図る。
	具体的内容	区公式ホームページ内で子育て支援に関するコーナー（子育て応援サイト）を整備・運用し、分かりやすい情報発信に取組みます。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	↔

１６５　すみだ子育てアプリの運用　（子育て支援課）

事業概要	目的	妊娠期から子育て期までの家庭に対し、産前産後のケア情報や各種子育て情報を発信することで、必要な方が必要な支援を活用できる環境を整える。
	具体的内容	スマートフォンアプリ「すみだ子育てアプリ」を運用し、民間事業者と連携した産前産後情報の提供や、区が実施する子育て関係イベントの発信などを行います。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	↔	↔	↔	↔	

Ⅱ　多様な方法を用いた情報の発信

情報発信方法を多様化することで、どのような環境にあっても、必要な家庭が子育て支援情報を取得できるよう取組みます。

１６６　すみだいきいき子育てガイドブックの発行　（子育て支援課）

事業概要	目的	妊娠期から子育て期までの家庭に必要な情報を掲載した冊子を作成・配布することで、必要な方が必要な支援を活用できる環境を整える。
	具体的内容	子育てに関する相談窓口や公園などのお出かけ先、健診・予防接種情報など、あらゆる子育て情報をまとめた「すみだいきいき子育てガイドブック」を作成・配布します。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	←→	←→	←→	←→	←→

１６７　区報及びＣＡＴＶによる情報発信　（広報広聴担当）

事業概要	目的	区の広報やマスメディアを活用した情報発信を行うことで、より多くの方に子育てに関する情報が届く環境を整える。
	具体的内容	区報及びＣＡＴＶによる子育てに関する各種サービス、講習会・講演会やイベント等の情報発信を行います。

対象ライフステージ	妊娠期	３歳未満	３歳以上	小学生	中高生
	←→	←→	←→	←→	←→